

# 【参道の名物】

おいしくて、おなかも  
大入、満腹



## 草もち

たっぷり入った香り豊かなよもぎ。

新鮮なヨモギをふんだんに使った草もち、職人の手作りならではの深い味わいがします。ほどよい甘さと芳しい香りに人気が集まっています。



## 串かつ

立ち食いでも楽しめる一品。

参道を歩いていると、どこからともなく、串かつのいい香りが漂ってきます。つつい手を出してしまう、不思議なおいしさがあります。

地元ならではの素材をつかった  
おいしい名物がいっぱい。



## 清物

素朴で懐かしいおふくろの味。

地元で取れた野菜を使った清物で、うまみを凝縮した田舎漬けや、サラダ感覚で楽しめる浅漬けなどがあります。素朴なおふくろの味です。



## 川魚料理

新鮮な素材の郷土料理。

市の魚であるなますの蒲焼きは、そのグロテスクな姿からは想像もできない淡泊な味わいです。その他にも鯉の洗いや鯉汁、鮎味噌などの郷土料理が食べられます。

まだまだあります！お帰りにお立ち寄りください。

## 【海津市おすすめおでかけスポット】



道の駅「クレール平田」



道の駅「月見の里 南濃」



国営木曽三川公園



治水神社



南濃温泉「水晶の湯」



海津市歴史民俗資料館

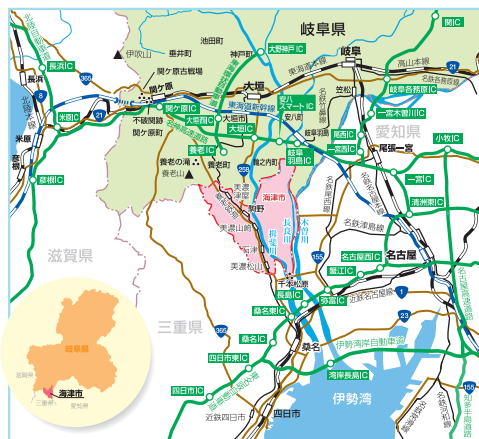
# 海津MAP



## 交通のご案内(車)

千代保稲荷神社まで( )は車での所要時間(約)

- 岐阜羽島I・C、岐阜羽島駅より共に…約11km(15分)
- 安ハスマートI・Cより…約7km(10分)
- 大垣I・Cより…約10km(15分)
- JR大垣駅より…約16km(30分)
- 東海大橋より…約9km(10分)
- 弥富I・Cより…約22km(30分)
- 桑名東I・Cより…約26km(35分)
- 東海環状自動車道養老I・Cより…約11km(20分)



## 交通のご案内(バス)

海津市コミュニティバス

運賃300円( )は所要時間

- JR岐阜羽島駅・名鉄新羽島駅よりお千代保稲荷下車(20分)



コミュニティバス時刻表



観光アプリ「海津まち歩き」

## (一財) 海津市観光情報センター(海津市観光振興課)

〒503-0695 岐阜県海津市海津町高須515(海津市役所)

TEL/0584-53-1115 FAX/0584-53-1569

URL <https://www.city.kaizu.lg.jp/>

R5.1



# まぢよぼさん

千代保稲荷神社



Pocket guide

海津市マスコットキャラクター  
かいづっち

# 商売繁盛の神様

大祭は、旧暦2月の初午祭、10月  
体育の日の秋季大祭。月例祭は毎月  
1日・15日・22日です。

毎日たくさんの参拜者で賑わって  
おり、とくに月末から1日にかけては  
一晩中お参りする人が絶えません。



境内入り口にある商店で、  
お供え物の油揚げとろうそく  
が売られています。お賽銭と  
ともに、この油揚げをお供え  
するのも参拜方法の一つ。参  
拜者は、商売繁昌、家内安全な  
どをお願いします。



油揚げと  
ろうそくをお供え

通し多くのお参りの人々で賑わ  
います。

千代保稲荷神社の由緒は、約  
二千年前の平安時代に遡ります。  
八幡太郎源義家の六男 義隆が  
分家する際、森の姓を授かり、  
先祖の霊璽、宝剣、義家の肖像  
などを「千代代々に保っていけ」  
と賜りました。その後、今から  
五百五十年ほど前の文明年間に、  
義隆の子孫 森八海がこの里を  
開墾し、義家から伝わる霊璽を  
祀ったのが神社としての始まり  
です。社名は「千代に保て」の  
言葉に由来します。現在では、  
「おちよぼさん」の愛称で親し  
まれています。

「千代保稲荷神社」（ちよほ  
いなりじんじや）が正式な社名  
で、大祖大神（おおみおやのお  
おかみ）、稲荷大神（いなりお  
おかみ）、祖神（みおやのかみ）  
をお祀りしています。

参道には百二十軒ほどの店が  
軒を連ね、年間二百万人以上の  
参拜者が訪れます。特に、毎月  
末（晦日）から翌一日にかけて  
の「月越参り」では、境内は夜

## 温故集成館

温故集成館は、千代  
保稲荷神社が所蔵して  
いる国内外の作品を展  
示している付属の美術  
館です。岐阜県ゆかりの作家の絵画や陶磁器、地元高須  
藩に関わる松平氏の書画などを収蔵しています。



- 開館日／月・金を除く毎日、毎月1日、祝日
- 開館時間／AM9:30～PM4:30
- 入館料／無料
- 問い合わせ／温故集成館……☎(0584)66-4341



重軽石

願ひ事の成否を占う石です。  
やり方は、まず一度何も考えずに石を持ち上げます。そして  
次は、重くあがってほしいか、軽く上がってほしいかを決めて、  
願ひ事を念じて持ち上げます。  
決めたとおりに感じられたら、願ひ事が叶うかもしれません。